

平成26年10月14日  
東北経済産業局

## 陸上自衛隊東北方面隊との間で、危機時の石油輸送力を強化

～みちのくアラート2014での石油製品輸送支援訓練を実施～

資源エネルギー庁及び防衛省の大規模災害対応に向けた協力の一層の推進のため、「津波防災の日（11月5日）」に関する取組の一環として、陸上自衛隊東北方面隊及び東北経済産業局では、みちのくアラート2014において、JX日鉱日石エネルギー株式会社、出光興産株式会社及び丸山株式会社の参加を得て、広域・大規模地震・津波災害に備え、①人命救助を行う自衛隊への石油供給の円滑化と②自衛隊による避難所等で使用する民生用石油輸送の体制強化に向けた訓練を実施します。

### 1. 背景とねらい

2011年3月の東日本大震災時には、石油の輸送が困難になり、給油が困難となった地域も多数発生しました。そうした中、資源エネルギー庁からの要請に基づき、自衛隊がドラム缶に詰めた軽油等を被災地へと搬送し、民生用石油供給を支援しましたが、その際に様々な調整課題が発生しました。一方、こうした石油供給インフラの被災が、自衛隊の人命救助活動に必要な燃料確保に影響を与える可能性もあらためて認識されました。

こうした経験を踏まえ、資源エネルギー庁と防衛省では、①より確実な自衛隊向け石油供給体制の確立や、②自衛隊による民生用石油輸送支援の実施について検討を重ね、防衛省の「平成26年度自衛隊統合防災演習（26JXR）」の一環として本年6月の製油所（コスモ石油（株）堺製油所）を活用した初の合同実働訓練に引き続き、陸上自衛隊東北方面隊の実行動による方面隊震災対処訓練（みちのくアラート2014）においては、更に広範囲な実働訓練を実施することとなりました。

### 2. 訓練の概要

月日：平成26年11月7日（金）

宮城沖を震源とする大規模な地震・津波の発生を想定し、JX日鉱日石エネルギー株式会社仙台製油所（宮城県仙台市）、丸山株式会社亘理中央給油所（宮城県亘理町）及び出光興産株式会社塩釜油槽所（宮城県塩竈市）の施設を利用し、訓練を実施します。

具体的には、

- ①発災当初における燃料の急激な需要増大に伴う自衛隊への石油供給を想定し、民間の製油所・油槽所（出光興産株式会社塩釜油槽所）において自衛隊の燃料タンク車により、直接受領する訓練 及び、
- ②緊急用救命用の石油を供給する民間の燃料供給拠点において、自衛隊輸送力でなければ輸送する事が出来ない限定的な場面（被害状況により民間ローリーの補給が出来ない場面）を想定

し、民間の製油所（JX日鉱日石エネルギー株式会社仙台製油所）から、孤立した民間の燃料供給拠点（丸山株式会社亘理中央給油所）に自衛隊燃料タンク車を活用した輸送支援訓練を実施し、石油を確保・搬出する手順を訓練・確立します。  
自衛隊の燃料タンク車が民間の油槽所、製油所に入るのは、今回の訓練が初の試みです。



自衛隊燃料タンク車

（本発表資料のお問い合わせ先）

東北経済産業局資源エネルギー環境部資源・燃料課長 石森 武博

担当者：鈴木 清美、佐々木 幸一

電話： 022-221-4934（直通）



### みちのくアラート2014

平成26年11月6日(木)～9日(金)

キーコンセプト：1人でも多くの命を救うために

東北経済産業局は、みちのくアラート2014の参加機関です